



令和8年度

浅田の原

令和8年7月1日

第4号

秩父市立高篠中学校

未来へつなぐ「輝く点」を、今、ともに打つ

校長 飛川成正

保護者の皆様、日頃より本校の教育活動に温かいご理解と多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。光陰矢のごとしと申しますが、早くも一年の折り返しを過ぎ、一学期の締めくくりとなる7月を迎えました。

今月は、ある有名なことわざからお話を始めさせていただきます。

「覆水（ふくすい）盆に返らず」——一度お盆からこぼれてしまった水は、どれだけ悔やんでも二度と元に戻すことはできない。転じて、「一度起きてしまったことは、二度と取り返しがつかない」という意味の言葉です。なぜ今、この話を皆様と共有したいのか。それは最近のニュースで、中高生と同世代の若者たちが、目先の欲求や軽いノリから「闇バイト」などの犯罪に加担し、自らの未来を壊してしまう痛ましい事件が後を絶たないからです。SNSの「短時間で高収入」という甘い言葉に誘われ、深く考えずに応募した結果、重大な犯罪の実行犯にされてしまう。逮捕後に若者たちがどれほど涙を流し、後悔を口にしても、奪われた命や失われた信用は二度と戻りません。一瞬の気の緩みが、取り返しのつかない結末を招く現実がここにあります。

これは決して遠い世界の話ではありません。スマートフォンが普及した現代、子どもたちの日常にも同様の落とし穴が潜んでいます。「これくらいならバレないだろう」という万引きや悪ふざけ、あるいは「みんなやっているから」「ノリだから」と、特定の誰かをからかったり、嫌がる姿を撮影してネットに流したりする「いじり」という名のいじめ。これらもすべて、始まりは「目先の欲求」や「浅はかなノリ」です。「知らなかった」「そんなつもりじゃなかった」という言い訳は、社会では一切通用しません。誘惑に負けず、踏みとどまる「正しい判断力」を育むことが、今、子どもたちに強く求められています。

一方で、この一学期、生徒たちは学校という安心できる環境の中で、大変素晴らしい成長の姿を見せてくれました。各学年で行われた大きな行事——2年生の「職場体験」では社会のルールや働くことの厳しさと尊さを学び、3年生の「修学旅行」では仲間と協力して集団行動の規律と絆を深めました。それぞれが社会の一員としての責任を肌で感じ、一回りも二回りも逞しく成長してくれたことを、私自身とても頼もしく感じております。

また、先月開催された3年生にとって最後の公式戦である「学校総合体育大会」では、各部活動がこれまでの練習の成果を遺憾なく発揮し、白熱した試合を繰り広げました。結果の良し悪しにかかわらず、勝利に歓喜し、時には敗戦に涙したあの瞬間、そして何より、仲間と共に一つの目標に向かって泥臭く努力を積み重ねてきたこれまでのプロセスそのものに、計り知れない価値があります。この大会を通じて培った「困難に立ち向かう粘り強さ」や「仲間を思いやる心」は、これからの彼らの人生を支える大きな糧、そして財産になると確信しております。これまで生徒たちを家庭で支え、熱い声援を送ってくださった保護者の皆様のサポートに、深くねぎらいと感謝を申し上げます。

アップル社の創業者であるスティーブ・ジョブズは、かつてこのような言葉を遺しました。

「未来を見て、点と点をつなぐことはできない。できるのは、過去を振り返ってつなぐことだけだ。だから、いま打っている点（経験や行動）が、将来どこかでつながると信じなければならない」

いま学校で学んでいること、部活動で流した汗、行事で得た達成感、そして「これはやってはいけない」と誘惑を断ち切る正しい選択——その一つひとつが、いま子どもたちが一生懸命に打っている「点」です。誠実に打たれた正しい点は、将来、思いもよらないところで繋がり、素晴らしい未来という一本の線になります。逆に、軽いノリや欲求に負けて「黒い汚れた点」を打ってしまえば、それもまた未来で繋がり、人生を縛る鎖になってしまいかねません。

あと2週間あまりで、長い夏休みを迎えます。学校という守られた枠から一歩外に出て、一人ひとりの「自己管理能力」と「主体性」が試される時期だからこそ、ご家庭と学校がしっかりと手を取り合い、子どもたちが未来の自分に誇れる「輝く点」を打ち続けられるよう、温かく、時に毅然と見守っていきたいと考えております。

今後とも、本校の教育活動への変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

＜修学旅行＞

6月2日（火）から3日間、京都・奈良方面へ修学旅行に行ってきました。台風の接近が心配されましたが、幸運にも予定していた行程を変更することなく、無事に全日程を終えることができました。生徒たちは仲間と協力しながら班別行動等に取り組み、多くの学びと思い出を得た3日間となりました。一人一人の成長が感じられる修学旅行となりました。



秩父地区硬筆展

推薦賞 2年
特選賞 1年
2年
3年
優良賞 1年
2年
3年



校内硬筆展（金賞は上記の地区硬筆展出品です。）

銀賞 1年
2年
3年

7月の予定（今後の状況により、変更する場合があります。）

日	曜日	予定	日	曜日	予定
1	水	登校指導	14	火	期末短縮日課 部活動休養日 救命講習
2	木	期末テスト1日目	15	水	期末短縮日課
3	金	期末テスト2日目 ボランティア説明会	16	木	期末短縮日課 大掃除
6	月	表彰朝会 部活動休養日 PTA会費集金日	17	金	1学期終業式 給食なし 部活動休養日
8	水	学総体予選会県代表者会議	18	土	学総体県大会陸上①
9	木	生徒代表者会議	19	日	川瀬祭 学総体県大会陸上②
10	金	SC 来校	21	火	3年生三者面談期間開始
13	月	生徒朝会（選管：選挙公示）	23	木	学校保健会教育講演会 卓球県大会